

JCI HIKONE

一心一意！ 夢、希望溢れるひこねへ！

2022年度常設委員会
委員長候補者の意気込みを紹介！

近畿地区大会を終えて…
北村理事長 インタビュー



Next Keymen



11月度家族例会にむけて
～感謝の気持ちを持ち続けよう～
橋本一幾、副理事長 インタビュー

湖東焼の復興 一志郎窯、
中川一志郎 氏 インタビュー

写真：※ 左上から
北川 凌慶
夏原 八
上田 一
藤井 肇



一心不乱！ 2021地区大会 in ひこね！

7月3日、滋賀県は米原市にて近畿地区大会 彦根大会が開催されました。今回は大会を振り返り、第68代理事長である 北村忠征 君にインタビューです！ 主管LOMとして、そして理事長として本大会に臨んだその想いとは！？



第68代 理事長
北村忠征 君



質問：まずは大会が終わって、北村理事長の率直なご感想をお聞かせください。

北村：新型コロナウイルス感染症の影響によりフェスタが中止となりましたが、式典だけでも開催できたことに安心しております。なにより主管LOMとして、これだけ大きな大会を経験する機会はそうはありません。私を含め、メンバーにとって大きく、価値ある学びになっと感じています。

質問：この学びを活かす次の大きな機会と言えば、真っ先に思い浮かぶのは、やはり2023年に控える彦根青年会議所70周年の式典ですね。

北村：そうですね。しかし70周年だけではなく、私たちの日々の活動にも活かせる「学び、が多分にあった大会です。貴重な経験を活かし、日々の活動をしっかり行ったうえで『70周年を向かえる！』ことが大事です。

質問：大会式典では北村理事長が開会の挨拶を行われましたが、こういった想いで挨拶をされたのでしょうか？

北村：あの場でお話しさせていただいたことは、決して私一人の想いではありません。彦根青年会議所メンバーの想いはもとより、近畿地区圏内、全国の青年会議所会員が想っていることを言葉にしました。大会には青年会議所会員以外にも多くのご来賓の方々がお越しになられていましたが、青年会議所会員として、想いの丈をぶつけさせていただいた次第です。

質問：確かにあれはとても心に響く挨拶でした…。最後になりますが大会にご参加いただいた方々、関係者の方々にメッセージをお願いします。

北村：まずはこのようなコロナ禍のなか、大会会場まで足を運んでいただいた皆さまに深く御礼申し上げます。私たち彦根青年会議所は地域活性化、そして更なる発展のため日々活動に従事しておりますが、各青年会議所会員、関係諸団体の皆さま、そして地域の皆さまとの連携、ご協力がなければ成しえない事も多々ございます。引き続き私たちの活動にご理解とご協力を賜りますとともに、これからも彦根青年会議所の活動に対し「大いに！」ご期待いただければ幸いです。この度は誠に有難うございました。

一心同体！ 夢、希望溢れる同志たち！

今回は2021年11月6日に行われる、11月度家族例会～感謝の気持ちを持ち続けよう～を開催するにあたり、副理事長である 橋本一幾 君にインタビューを行いました。私たちが日々青年会議所活動をしているのは家族の支えがあってこそ！ 感謝の気持ちを再認識するための家族例会の全貌をご覧ください！

質問：初めに11月度家族例会を通して、メンバーに何を感じてほしいか、何を学んでほしいかをお聞かせください。

橋本：本例会では、私たちをいつも支えてくれているご家族の「有難み、をメンバーに再認識してもらいたいと考えております。

質問：JCIメンバーにとってご家族の存在というのは非常に大切ですね。

橋本：その通りです。辛い時に支えてくれる存在であることはもちろんですが、メンバーのご家族には「JCI活動への理解、という苦勞をかけています。私たちが日々全力で地域活性化のために活動を続けられるのは、間違いなくご家族の理解、そして支えがあってこそです！

質問：その通りですね。JCI活動をしていると自分の家族に対して苦勞をかけているな…と感じる時が、やはりあります。

橋本：家族関係とJCI活動の両立は簡単なことではありません。時にはJCIが原因となり喧嘩になることもあるでしょう。しかし最後には送り出してくれる、理解を示してくれるご家族に対して、私たちは感謝しなければいけません。

質問：今回、ご家族に対して事前アンケートを实际されるとお聞きしています。

橋本：メンバーのご家族が、どれくらい青年会議所活動を理解しておられるか、また悩みはなにかを事前に聞き取ることで、例会当日の内容をより充実させたいと考えております。また例会終了後にはご家族の方々に私たちの活動ムービーを視聴していただき、より理解を得られるような設えを予定しています。

質問：最後に、メンバーに対して、そして彦根青年会議所メンバーのご家族に対してメッセージをお願いします。

橋本：なかなか理解するには難しいJCI活動ではありますが、本例会を機にご家族の皆さんの更なる理解を得るとともに、メンバーには支えてくれるご家族に対して、改めて感謝の気持ちを持っていただくキッカケになればと考えております。なのでメンバーは必ず参加するように！（笑）宜しくお願いします。



副理事長
橋本一幾 君



一心発起！ TAKE ACTION！

連載記事「一心発起！TAKE ACTION！」では、地域（彦根市、米原市、多賀町、甲良町、豊郷町、愛荘町）の活性化に繋がるACTION！を起こしている組織内外の人物や組織に取材を行い、12ヵ月に渡り記事を掲載していきます！

10回目となる今回は「再興湖東焼 一志郎窯」の 中川一志郎 氏にお話を伺いました。一度は途絶えた湖東焼の歴史…。名窯を復興させた陶工としての熱い想いを聞くことができました！

質問：本日は宜しくおねがいたします。まず初めに…

「再興湖東焼 一志郎窯」のことを教えてください。

中川氏（以下、中川。敬称略）：主に湖東焼の食器等を展示、販売しているギャラリー、一志郎窯で製作した器を選んでいただき珈琲やお茶を飲んで頂く茶房、そして工房での陶芸教室を彦根市で行っております。

質問：湖東焼には古い歴史があるとお聞きしています。

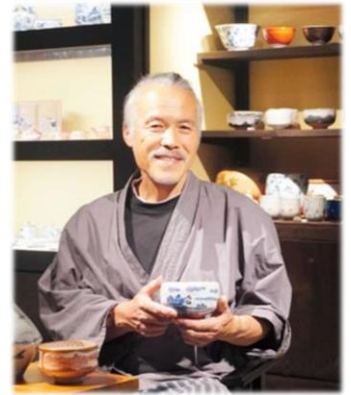
中川：湖東焼は幕末彦根藩の御用窯として名品を生み出し、栄えていました。焼成技術は景德鎮（千年の歴史を持つ陶磁器の原点）、伊万里（有田焼と並び日本随一と称される陶磁器）に劣らない世界最高の水準です。特徴的な絵付けにいたっては緻密なデザインが高い評価を得ており、工芸品として美術的価値の高さと希少性から「幻の名窯」と称されています。

質問：彦根発祥の価値ある産物ですね。しかしなぜその歴史が一度は途絶えてしまったのでしょうか？

中川：全ては1860年3月3日の江戸城桜田門外における彦根藩の第15代藩主「井伊直弼、暗殺（桜田門外の変）」が始まりです。これがキッカケとなり百人近い茶碗山の職人はおびえて四散。結果操業不能となった彦根藩の窯は廃止されました。

質問：激動の時代の中で、彦根の名窯も消えてしまったわけですね。しかしそれを再興されたのが中川さん！

中川：もともと私は信楽出身の陶芸家だったのですが、湖東焼の絵付けに魅了され再興を志しました。150年という長い空白期間がありましたが、県と市と有志の方の援助をいただき、昭和61年に窯を築き、試作を始めました。現存する作品や文書をもとに研究作陶を重ね、彦根で作る湖東焼として、誇れる作品を焼き上げようと努力しています。



中川 一志郎 氏



再興湖東焼

一志郎窯

質問：再興湖東焼は2006年に滋賀県伝統的工芸品に認定されていますが、中川さんの志がなければ、湖東焼とそれに関わる彦根の歴史自体が埋れつつあったのではと感じます。

中川：そうですね。彦根に住み暮らす人たちでさえ、これほどまでに評価されている焼き物があることを知らない方が多くおられます。湖東焼に限らず、彦根は歴史深く、そしてとても大きな影響力を持っていたまちです。地域の人々が彦根に対して誇りを持つためには、歴史をもっと学ぶ必要があると感じます。知ればおのずと、自らが住み暮らすまちの誇りが生まれるはずです。

質問：人々が誇りを持てるまち…。私たち彦根青年会議所も、多くの人々に知っていただきたいと感じている部分です。

中川：それを成すのが彦根青年会議所さんの役目だと私は思っています！（笑）地域の責任世代、なにより底力とヤル気がある組織であることは以前より存じております。現役メンバーの方々にも歴史をしっかりと学んでいただき、地域の活性化に繋がる活躍を期待していますよ！

発見！ひこねの魅力体験記！

連載記事「発見！ひこねの魅力体験記！」では、2市4町にある魅力スポットを彦根青年会議所メンバーが訪れ、体験した内容を記事とすることで、地域の知られざる魅力を紹介していきます。

10回目となる今回は、前ページに引き続き 再興湖東焼 一志郎窯で「陶芸体験」、彦根が誇る伝統的工芸品！ひこね人なら分かる！変わらぬ魅力がそこにはありました！

体験するのは総務広報委員長 夏原大輝 君とその奥様！
青年会議所活動に理解を求める？ために家族と魅力体験♪
まずは何を作りたいかを伝えます。順を追って中村一志郎先生が手とり足とり教えてくれるので、こりゃ安心です♪

陶芸初体験の夏原委員長…。
慣れない陶芸に悪戦苦闘しつつも中村先生が優しく教えてくれるおかげで徐々に！それらしくなります！（笑）



完成品は焼き上がりまで約1カ月！本記事には間に合いませんでしたが完成品は改めて月報に掲載させていただきます。彦根の歴史を感じつつ、自分だけの焼き物を作る再興湖東焼 一志郎窯は、間違いなくひこねの魅力スポット！皆さんも是非ご体験あれ♪

～2022年度 委員長候補者たち！～

先日行われた8月臨時総会にて承認された各委員長たち！総会内で行われた決意表明をご紹介します！
地域のために邁進する彼らの活躍に乞うご期待ください！

総務委員会 委員長候補者 ～北川 凌～

総務委員会委員長を仰せつかりました北川凌です。2021年度入会したばかりの若輩者ではございますが、2022年度が終わった時に、頑張って良かったな…と思えるように精一杯頑張ります！



広報ブランディング委員会 委員長候補者 ～上田 一八～

広報ブランディング委員会の委員長を仰せつかりました上田一八です。広報ということで、彦根青年会議所と対外とをつなぐ役割をしていきたいと思っています。受けるからには全力で行きますので、よろしく願いいたします！

強固な絆確立委員会 委員長候補者 ～夏原 慶～

強固な絆確立委員会の委員長を仰せつかりました夏原慶です。この委員会名の通り強固な絆をメンバー間で築けるように盛り上げるとともに、会員拡大については、一人でも多くの方々に入会していただけるように私自身精一杯頑張ります！



地域未来創出委員会 委員長候補者 ～藤井 肇～

地域未来創出委員会委員長を仰せつかりました藤井肇です。事業系ということでメンバーの協力が必要になる委員会だと思います。皆様のご協力を仰げるように、熱い想いをもって頑張りますので、よろしく願いします！

事業・例会案内

- 2021年 10月 7日～10月10日
第70回全国大会 とちぎ宇都宮大会
- 2021年 10月 16日（予備日 10月17日）
10月度事業例会～私たちのまち ひこね～開催
＜昼：写真大会／夜：LEDスカイランタン＞
- 2021年 11月 6日
11月度家族例会～感謝の気持ちを持ち続けよう～開催

